

小田原

広

報

まちづくり情報誌

2000 6月号 / 1

平成12年6月1日発行
No.772

あ？
ポイ捨ては禁止だよ！
守ってほしいな



環境に

そろそろ始めてみませんか

やさしい暮らし

地球の温暖化、大気、水質、土壌。新聞やテレビで毎日のように取り上げられる環境問題。でも、それを人ごとのようにとらえていることはありませんか？ 実は、環境問題は、私たちが被害者であり、同時に加害者でもあるのです。ここでご紹介するのは、環境にやさしい暮らしを始めた方々です。皆さん、生活スタイルにあわせ、無理なく実践されています。あなたも、傍観者にならずに、一歩踏み出して始めてみませんか、環境にやさしい暮らし。きっと、それは人に優しい暮らしのはずです。

どうして大人はポイ捨てするの？

飯山由貴さん(南陽宮、小6)

「昨年、酒匂川の花火大会を見た翌朝、会場を散歩したんです。そこは、ごみでいっぱいでした。花火があんなにきれいだっただのに、なぞ、ごみを捨てていくんだらう。少しがっかりしました。さっさと、地域の人たちと一緒にごみ拾いを始めたが、その量は気が遠くなるようだったという。飯山さんが拾ったごみを分析してみると、一番多かったのが「たばこの吸い殻だった。大人にあって耳の痛い話である。」



ポイ捨てをなくしたい！
今年、飯山さんは、母親の潮里さん、弟の誠也くん、そしてご近所の近藤さん姉弟とともに、こどもエコクラブ「いけYISM」を結成した。環境について考える仲間づくりの第一歩だという。



ポイ捨て禁止だよ！

一昨年、花火大会のポイ捨てを調査したので、その結果をもとに「どうしたらポイ捨てがなくなるのか」を考えて、実行していきたい。エコクラブの仲間も増やしていきたいなど目標を輝かせていた。どうです、この行動力。我々も見習わなければいけませんね。がんばれ！「いけYISM」。

◎環境総務課

※こどもエコクラブ
環境庁が全国の小・中学生に参加を呼びかけている環境活動のクラブ。参加費は無料ですが、申し込みは要する。

自然に触れて環境を学ぶ 地球ファミリー 環境議会参加者募集

楽しくて、ためになる体験学習を通して、感じたことや疑問に思ったことを市長に発表します。はつきりと自分の意見を言えるかな？

対象 市内在住の、原則として小学校3年生から中学生まで、すべての日程に参加できる2人以上のグループ。

- 日程
- ① 7月22日(自然観察)
 - ② 7月28日(施設見学)
 - ③ 8月5～6日
(こどもエコクラブ全国交流会「上越市」)
 - ④ 8月10～11日(エコキャン「清里」)
 - ⑤ 8月16～23日(環境議会準備)
 - ⑥ 8月27日(環境議会)

※③④は参加者調整あり
参加料 3,000円
申込方法 はがきに「環境議会参加希望」と明記の上、グループ名、全員の氏名、性別、学校名、学年、連絡先となる保護者の住所、氏名、電話番号を書いて郵送(ファックス可)

定員 50人程度(多数抽選)
申込 6月20日(火)までに、
〒250-8555 小田原市役所環境総務課
☎33-1471 Ⅸ33-1487
参加者は「こどもエコクラブ」に登録され、全国の仲間と交流できます。

この事業は宝くじの助成を受けて実施するものです。

この研究を感じたことは？
「みんなが環境のことを考えてくればいいんだけど、そうでないところが難しい。」一緒に考えてくれる仲間を少しずつ増やしていくことが大切だと思います。」



マは私にできる「ちきあぐ」温暖化対策！
(小田原市児童、生徒科学展賞会優秀賞受賞。)

エコクラブ「いけYISM」結成



100%でなくていい 台所から始めよう!

清水玲子さん(中村原)

「テレビや新聞で山や海など自然が崩壊しているという報道に接して嘆く我々が、家の近くを流れる川の汚れに無頓着だったりします。台所から自然保護が始まるんですよね。」

清水さんは、学生時代に生物を専攻し、自然観察が趣味。雑誌などで紹介されているこの分別方法や環境に負荷をかけないアイデアは、すぐ実践してみた方だという。普通の主婦代表と語る清水さんが、家庭でできる簡単な環境にやさしい工夫を、いくつか教えてくれた。

生ごみは流しの脇の袋へ

流しの三角コーナーに生ごみをためると、水がかけられるたびに、生ごみから栄養分が流れ出てしまいます。ビニール袋の中へ、そのまま生ごみを入れるようにしています。

生ごみは三角コーナーに捨てずに、ビニール袋へ

食器はお湯洗いだけ

泡が出ないし落ちた気がしないのかもしますが、通常の汚れならお湯洗いで十分落ちます。油分などに石鹸で洗います。合成洗剤は置いていけません。

ティッシュは鼻をかむときだけ

ティッシュや口周りの汚れはタオルでかきます。ティッシュの使用を減らすだけでも、ごみはずいぶん減りますよ。

「完璧にやろうとするとプロレッシュヤーになっちゃう」



箱のごみと専用の袋を一つだけ。簡単!

100%でなくてもいい。軒一軒、それぞれの家庭が意識するだけで、ずいぶん環境への負荷が小さくなるはずです。できることから、無理なく始めてみましょう。どうですか?これなら、我が家でもできそうですよね。

魚が住める 水質(BOD5mg/l)にするために必要な水の量

浴槽1杯…300ℓ	
しょう油	15ml 1.5杯分
米のとぎ汁	2ℓ 4杯分
みそ汁	200ml 4.7杯分
マヨネーズ	10ml 8杯分
生ビール	150ml 11杯分
使用済み天ぷら油	500ml 330杯分

小田原めだかをを守る

沖津昭治さん(桑原)

いる!いる!小田原めだかがたくさんいる!この川だけ、童謡「めだかの学校」が作られたところにタイムスリップしたかのような感じだ。川縁のあぜ道を歩きながら、沖津さんは自分の子供を見るように、めだかを目で追う。「それでも、オレの子供のころに比べれば、少なくなっちゃったよ。」

みんな協力してくれるんだ

「めだかはね、流れが緩やかで、川底が沼になっていて、川縁に隠れる草が生えている場所が好きなんだよ。」だから、沖津さんは、冬の間に川縁にシヨウブなどを植えておく。このことを周辺の田の主さんに話すと、皆、川縁の草を刈らずに協力してくれたという。

「おかげで、こころー帯は小田原めだかのひとつで最高の生息地になったんだよ。」



小田原めだかを
見つめる沖津さん

小田原めだかを
飼育してくださる方

めだかの お父さん、お母さんを 募集!

◎環境保全課 ☎33-1481

「めだかの飼育と言われても、ちよっと無理」というあなた。育てるのは簡単です。分からない点があったら、飼育指導員さんからのアドバイスもありますよ。

さあ、あなたも小田原めだかのお父さん、お母さんになって、小田原めだかを育ててみませんか。

応募条件 市内在住、在勤、在学の方で、小田原めだかのお父さん、お母さん制度の約束(大切に育てて、勝手に捨てたり放流したりしない、他の種類の魚と一緒に飼育しない、人に譲らない)を守れる方。年齢不問。中学生以下は、成年者の承諾が必要。(多数抽選)

申込方法 往復はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、勤務先または学校名、電話番号を書いて郵送
申込 6月20日(火)までに(必着)、〒250-8555 小田原市役所 環境保全課「小田原めだか係」
メダカ手渡し予定日 7月23日(日) 10:00~
場所 小田原市役所大会議室



小田原の財産、小田原めだか
小田原めだか以外のめだかを放流しないでください。

できることからはじめよう
消費者が進める環境にやさしくらし

マイバッグ運動

やっています。

昭和30年に発足した消費者の会。会の活動は、物価調査や食品添加物問題を経て、時代の流れとともに環境問題へと視点が変わっていった。その活動として「マイバッグ運動」と称し、古傘の布地の再利用により、買い物袋を手作りしている会長・井上照子さん（蓮正寺）にお話をうかがった。

◎地域づくり課 ☎33-1396

もったいないといふ心
忘れていませんか

「現在は社会全体に『もったいない』という心がなくなっています。私も幼いころから、儉約する心の教育を受けてきました。新しいものじゃないとだめだということこそ、古い考えだと思えます。そこで私は、ごみとして出される古傘から買い物バッグをつくることにしました。10年前から作り出して、今では1000枚以上になりました。枚数が増えるので私の名刺として初対面の人にも配っているのです」と、思いを込めた手作りバッグを差し出す井上さん。

「10年前といえは、ちょうど環境が社会的問題として取り上げられ始めたころ。それまで消費が美德のように言われていましたが、私は消費者として心から疑問を持っていました。そこで社会に対するメッセージとして、この活動を始めたのです。工夫していくうちに、買い物袋用の大きなものから和風用のキンチャクまでいろいろ種類が増えました。特に、リサイクル型のもものは高齢者の方に選ばれています」と、色鮮やかなすてきな作品を机の上に広げた。



10年で時代も変わった。過剰包装の時代には、衣料品店などでは「包装はいらない」

と言っても、サービスの低下を理由に断られたという。今では当たり前となっている店員からの「ありがとうございます」というお礼と笑顔がうれしいという。

「ヨーロッパの環境先進国であるドイツスウェーデン、デンマークでは、買い物かごを持参するのが普通で、袋を欲しいという人はいません。大切な環境を守り育てるために、消費者である私たちは買い物袋を持参して、捨てる物を少なくし、無駄をなくすることに心がけるなど、意識改革が必要なんです」とさっぱりと言う井上さんは、今後ますます袋を作りを続けるだろう。

ごみの資源化率 県内トップの小田原市

ごみは収集・焼却・埋処分そしてリサイクルにも経費がかかります。お陰様で、皆さんのご協力による分別収集を始めてから、ごみの排出量が減りました。

分別されたペットボトルやトレイ、プラスチックなどもきれいに洗われて出されています。その結果、ごみの搬出量の約4分の1に当たる資源化率を記録しました。

◎環境総務課 ☎33-1471



全国下水道促進デー 「下水道いろいろコンクール」

ポスター部門で建設大臣賞



鈴木恵美里さん
三の丸小学校6年生

水泳やマラソンなどスポーツが大好きという恵美里さん、図書館で下水道のことを調べながらポスターを描いたそうです。

「早く全国に下水道が通って、川の水がきれいになればいいなと思います。ポスターに描いた『王』は、一人ひとりが水を大切にするようにとの願いを表現しました」。

環境パトロール

小田原の空・土・川を調べました

◎環境保全課 ☎331482



空



土



川

小田原の空は、おおむね環境基準を満たし、比較的良好な空と言えそうです。

①大気環境調査結果

大気環境調査結果	二酸化窒素濃度の経年変化(単位:ppm)				
	日平均値の年間98%値				
年度	6	7	8	9	10
小田原市役所	0.037	0.035	0.033	0.038	0.036
神奈川県庁	0.075	0.063	0.065	0.066	0.071
県内最高値	0.075	0.066	0.070	0.068	0.073
県内最低値	0.032	0.032	0.032	0.034	0.033

環境基準: 0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内。またはそれ以下であること。

②ダイオキシン類調査結果

神奈川県では、県下6地点で年4回調査しています。本市は市役所で実施し、年平均値が0.13pg-TEQ/m²と環境基準値(0.6pg-TEQ/m²)を下回っていました。今年度からは、小田原市独自に川東地区を調査します。

ダイオキシン類調査結果

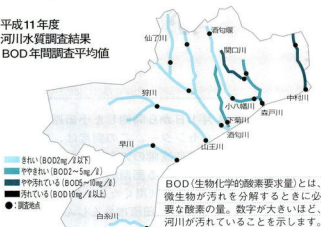
小田原は、環境庁の土壌汚染の環境基準値を大幅に下回る結果になりました。この調査は、県下6地点の大気環境調査地点を中心に、半径1km以内の近隣地域と半径3km以内の周辺地域で実施したものです。

小田原市

近隣地域	0.037pg-TEQ/g-dry
周辺地域	5.5pg-TEQ/g-dry
環境基準値	1,000pg-TEQ/g-dry



平成11年度 河川水質調査結果 BOD年間調査平均値



河川水質調査結果

下水道の普及や工場排水の規制強化のため、以前に比べてきれいになりました。今では、河川汚濁の原因の80パーセントは家庭からの生活排水だと言われています。

小田原の水道水

3月に調査した配水池管末水道水の水質を検査したところ、すべて水質基準に適合していました。これからも安全でおいしい水をお届けします。

◎水道局浄水課 ☎411245

「ニ」がポイント

過マンガン酸カリウム消費量とは? 水の中に溶けている有機物の量のことをいいます。生活排水、工場排水、畜産排水などの汚染により増加することもあり、汚れの指標となります。

項目	配水池	中河原	小峰	久野	水質基準
pH値	7.1	7.5	7.3		5.8以上8.6以下
色度(度)	1未満	1未満	1未満		5以下
濁度(度)	0.1未満	0.1未満	0.1未満		2以下
硝酸・亜硝酸性窒素(mg/L)	1.06	1.67	0.95		10以下
塩素イオン(mg/L)	9.3	6.8	5.6		200以下
過マンガン酸カリウム消費量(mg/L)	1.3	0.3	0.6		10以下
硬度(mg/L)	60.2	89.1	74.9		300以下
蒸発残留物(mg/L)	128	162	138		500以下
鉄(mg/L)	0.03未満	0.03未満	0.03未満		0.3以下
一般細菌(個/ml)	0	0	0		100以下
大腸菌群	検出せず	検出せず	検出せず		検出されないこと
残留塩素(mg/L)	0.30	0.60	0.60		0.1以上
総トリハロメタン(mg/L)	0.0077	0.0035	0.0034		0.1以下

あなたの権利を

守るために

あんしんセンターが スタート



福祉制度に残された課題

昭和25年に制定された身体障害者福祉法、昭和39年に制定された老人福祉法、これらの法律がきっかけとなって、障害のある方やお年寄りの方へのさまざまなサービスができるようになりました。日常の生活が不自由な在宅での一人暮らしの方にも、最近では、訪問看護や入浴・食事などの援助が充実しています。

しかし、その中でどうしてもお手伝いできないサービスがありました。毎日、暮らしの金銭管理に関わること。毎日、暮らしのお手伝いをしてくれるヘルパーさんや民生委員さえも、生活費や預金、財産などの管理はできないのです。このため、歩くのが不自由で銀行に生活費を引き出しに行けない人や、物忘れが激しいために、家賃や電気代などの支払いが遅れがちになってしまったり、人への支援策が課題となっていました。

そこで、厚生省では、これら日常的な金銭管理やサービス支援を含めた「財産保全管理サービス」事業として、平成12年度から地域福祉権利擁護事業をスタートさせました。小田原市ではこの事業のもと社会福祉協議会の中に「あんしんセンター」をつくり、4月から支援を行っています。

支援の対象者

- ① 精神障害者
 - ② 知的障害者
 - ③ 痴呆性高齢者など
 - ④ 身体障害者
- ・自己決定能力が著しく欠如しており、近隣に支援してくれる家族や親族などがない方
- ・身体的障害により、各種事務手続きなど、日常生活を送る上で不安をお持ちの方

主な支援内容

まず、利用された方の状況に応じて支援計画を作りします。

小田原市あんしんセンターから派遣される「生活支援員」がお手伝いします。

- ・生活費の銀行引き落とし手続き、物品購入や簡易な契約のアドバイス、金銭と預貯金の管理など（支援・管理サービス）
 - ・介護保険や各種福祉サービスを受けた方がよく分からない、という人への事務手続きの代行や、医療への受診支援など（支援・管理サービス）
 - ・印鑑や預貯金通帳、権利証・有価証券などの紙面化している財産の保全や管理の代行など（財産保全サービス）
- を行います。

4月1日から開始した小田原市あんしんセンター。この制度は、障害のある方や高齢の方の安心な暮らしをサポートする画期的な生活支援策です。ぜひご利用ください。

●小田原市あんしんセンター
☎35-4000

市長随想

県下トップ 「在宅介護力」

文 小澤良明

過日、某シンクタンクより、小田原市の介護保険制度の在宅介護力（ホームヘルパー、デイ・サービス、ショート・ステイ等の対応力）が県内三十七市町村の中でトップ、と発表された。

市長就任時より市、民間、あけて高齢化社会対策に取り組んできた成果がこうした形で表れたことは、私なりの苦勞もあつただけに感無量である。特にこれほど大がかりな社会システムの変革であるのに、なか「定まらぬ」国の方針や対応に、それほど事業主体である私達自治体が不安な思いにかられ迷惑をこうむつたことか。

それだけに、協力態勢を進め、ともに考え行動していたいた市民間の保健、福祉、医療関係者、民生委員を始めとする多くのボランティアの皆さん方、そして慣れない初仕事、制度の立ち上げに必死で打ち込んだ市職員達、それぞれの達成感私は私の感慨の何倍かのものがあつたろう。

この四月から始まつた介護保険制度も多少の問題はあつても一応順調に滑り出した。数年先行したドイツの初期の混乱ぶりを、年ほど前現地で目のあたりにしたが、学習効果もあつたか後発の我が国の方が対応は優れているようにも

万全のチェック体制

実際の支援は、各地の社会福祉協議会から推薦された生活支援員が行います。あんしんセンターでは、利用者の生活支援や財産管理が適正に行われているかを確認するため、学識経験者、弁護士、医師精神科、民生委員、福祉事務所、福祉関係施設による契約締結審査委員会を設置し、事業の監視を行います。また、県の権利擁護事業相談センターでも定期的に実施状況のチェックを行いますので安心してサービスを受けられます。

なお、サービスに不満があったときは、意見を申し立てることもできます。

利用料金

このサービスの利用には、次のとおり利用料がかかります。

日常的な金銭管理・生活支援(月額)

前年分所得税額	利用料
非課税及び生活保護受給者	無料
30,000円以下	2,500円
30,001円から140,000円	5,000円
140,001円以上	10,000円

財産の保全(年額)

前年分所得税額に關係なく	6,000円
--------------	--------

*なお、電話やご来訪による相談は無料

相談方法

社会福祉センターにある小田原市あんしんセンターにお電話または直接お越しください。

相談窓口 小田原市あんしんセンター
(小田原市社会福祉協議会内)
城山2-1-5 社会福祉センター
☎ 354000



一緒に問題を解決できるセンターに

生活支援専門員

三橋直樹さん



「なかなか人には相談しにくいことであるんですけど、でも家族だと思つて気軽に相談してはいます。」

社会福祉協議会の職員であり、小田原市あんしんセンターの取りまとめ役である三橋さんはこう話す。「いよいよ介護保険制度が始まりました。行政も私たち社会福祉協議会も、一生懸命PRしてありますが、まだまだ制度がよく分からないためにサービスを受けられない人もいます。そんな人にもぜひ利用してほしいです。」

充実した福祉制度と利用者のバックアップの両輪がはたして始めて良いサービスができる。「すべての人とはいかなくても一人でも多くの人の力になりたい。電話だけの相談もできますのでご利用ください。」と三橋さん。この制度に寄せられる期待は大きい。

新しい成年後見制度も4月スタート

横浜家庭裁判所小田原支部
☎ 226586

痴呆症の方、知的障害のある方、精神障害のある方など判断能力の十分な方々は、財産管理や身上監護(介護や施設への入退所などの生活について配慮すること)についての契約や遺産分割などの法律行為を自分で行うことが困難であったり、悪徳商法などの被害に遭つたりする恐れがあります。このような方を保護し、支援するのが成年後見制度です。

これまで、禁治産者、準禁治産者制度がありました。このように、戸籍に記載されてしまつたことや、保護者である法定後見人・補佐人の一人しか置けないことから、本人の保護体制が不十分である、などの問題点もありました。

新しい成年後見制度では、戸籍への記載を廃止したり、事業に応じた適切な保護者を選べたりすることでになりました。また、軽度の障害者の方も利用できるように「補助」制度を新設するなど、柔軟な制度へと生まれ変わりました。

小田原市あんしんセンターでは、法的な判断を必要としない金銭や財産の管理を行います。資産の処分など、法的な判断を必要とする場合は、家庭裁判所が行います。詳しくはお問い合わせください。



最前線の介護関係者の資質やレベルはどうか、心の通つたサービスを提供できるのか、施設や介護事業者のサービスの質と量はどうか、市民社会、特に対象者への公平で正確な情報提供システムを今後どう構築していくのか等々、課題は尽きない。

介護サービスの内容は、お年寄りの側からみて、以前のような権利としての「措置」から、保険料支払いの義務を果たしたお年寄りとして事業者と決め、「契約」する制度へと変つた。サービスを受ける側が相應の負担をするからには、その評価は以前と比較にならないくらい厳しいものとなることは理の当然である。本市が在宅介護力低下NO1との好評価を得ても手放して喜ばないのは、抱える問題が余りにも多いからである。

関係者にとって本当に頼りになる、ハートの通つた介護保険制度かどうか、問われるのはむしろこれからである。

四季折々の表情を楽しめる、私たちのふるさと小田原。このマップを手に市内を散策すれば、今まで気付かなかった小田原の魅力を感じることが出来るはずです。

観光おだわら魅力アップ委員会が

市内散策コースのイラストマップを作成

平成10年の観光元年をきっかけに発足した観光おだわら魅力アップ委員会のスタッフ26人は、すべて公募で集まった市民の皆さんです。取り進むテーマによって3つのグループに分かれ、小田原名産・食めぐりのモニターツアーを実施したり、バス事業者に市内定期観光バスの運行を働きかけたり、鉄道駅の案内標識の見直しを提言したりと、小田原の観光振興に結びつくさまざまな活動を行ってきました。

そして、今回4つのイラストマップを作成しました。どのマップも実際に歩く人の視点に立ち、コース案内図や花の名所、景色のよい場所などを、イラストを使って紹介しています。また裏面では、コース全体を通しての見どころや名所・旧跡などを、分かりやすく紹介しています。

目と耳と足を使って、小田原を再発見

観光案内グループ代表 小田原 務さん



小田原にはお城やかまぼこなど、有名な歴史上の建造物や産物がたくさんあります。交通の便もいいのに、観光客が小田原を素通りしてしまうのはもったいないと思っていました。でも、実は私も小田原の歴史や文化や産業についてきちんと知らなかったので、自分自身がまず勉強して知識を得た上で、多くの人にぜひ小田原の良さを知ってもらいたいと思い、今回マップ作りに携わりました。

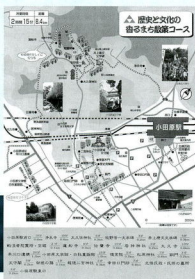
市内に9つある散策コースを、スタッフで手分けして実際に歩き、案内板は分かりやすいか、高齢者や障害者にもやさしい場所か、食事やトイレの場所などはと、現状と課題点をチェックしてまとめる作業をしていると、自分なりにいろいろ勉強でき、一市民として小田原の良さがよく分かりました。

今回、見どころの多いコースを4つ選んでイラストマップを作りました。スタッフが協力しあい、目と耳と足と小田原を愛する心で作ったマップです。小田原をもっとPRして、皆さんがその良さを広げていくためのお手伝いできればいいと思っています。



国府津・曾我の里散策コース

国府津駅を起点にして、菅原神社、田島横穴古墳、曾我兄弟ゆかりの城前寺、宗我神社などの神社・仏閣を中心に巡る8.7kmのコース。



歴史と文化の香るまち散策コース

小田原駅を起点にして、城山公園、小田原文学館、小田原城址公園などの名所・旧跡を巡る8.4kmのコース。

コースと見どころは…



せせらぎ水路の ショウブをお見逃しなく

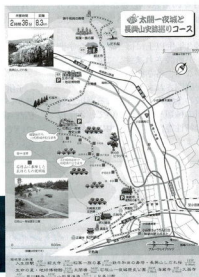
柳新田地区の水田地帯と市街地の境に位置する柳新田郷を、「水路の小径ゾーン」、「井戸水と生き物に触れられる憩いのゾーン」、「堀・あぜ・水田の一体的保全ゾーン」の三分に分けて、素堀水路のままで自然と調和した空間を整備しています。

現在「水路の小径ゾーン」が完成し、3年前に植えたショウブとあじさいが見ごろの、全長150mほどのきれいなせせらぎとなっています。

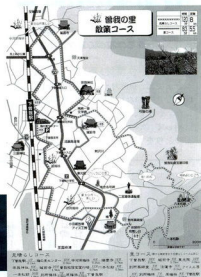
平成12年度からは、「井戸水と生き物に触れられる憩いのゾーン」と「堀・あぜ・水田の一体的保全ゾーン」の二つの区分の整備を進め、みなさんの散歩道や子供たちの通学路を、水のせせらぎと自然が調和した空間にすることを目指します。

ショウブとあじさいは、6月中旬までが見ごろです。植えて間もないショウブとあじさいが大きくなれば、またひとつ美しい水路になることでしょう。

山河川課 ☎ 33 1 6 2 7



太閤一夜城と長興山史跡巡りコース
入生田駅を起点にして、長興山のしだれ桜、生命の星・地球博物館、石垣山一夜城歴史公園などを巡る8.3kmのコース。



曾我の里散策コース
下曾我駅を起点にして、曾我梅林と曾我兄弟ゆかりの史跡などを中心に巡るコース。健脚向けの8kmのコースと、比較的平坦な5.5kmのコースの2種類。

実際に道を歩いて、きれいな景色を眺めるだけでも気分爽快なハイキング。そこに、ちょっとした解説があると、楽しみはどんどん広がります。

イラストマップは、観光課（市役所4階）、観光協会・観光案内所（小田原駅前のほか、各コースの起点・終点の駅などに置いてあります。どんな利用して、自分の世界を広げましょう！

観光課 ☎ 33 1 5 2 3

シリーズ

●報道解説

新学習指導要領は2002年から

一定の教育水準を保つため、学校がカリキュラムを編成する基準として定められている学習指導要領は、文部省が定めるもので、ほぼ10年ごとに改訂されています。

今回の新しい学習指導要領は、2000年と2001年は移行期間として段階的に実施され、2002年から、完全学校週5日制の下、全面实施されます。

改訂のねらいは「生きる力」

激しい変化が予想されるこれからの社会では、自分で課題を見つけ、自分から学び、自分で考え、表現できる力が必要になります。正義感や思いやりの心は、家庭の役割も大切ですが、学校でも培っていく必要があります。

自分で主体的に判断する能力、そして他人を思いやる心と、たくましく生きるための健康と体力、これら「生きる力」を育むことを、新しい学習指導要領は目標にしています。

改訂の4つのねらい

- ①豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。
- ②自ら学び、自ら考える力を育成する。
- ③基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する。
- ④各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育、特色ある学校づくりを進める。

学校はどう変わる？

今までは、ゆとりがなかった、子供が授業を理解できていないといった声が聞かれました。そこで、わかる授業、楽しい学校を目指して、次のように展開していきます。

①ゆとりをもてるよう、1週当たり2年

位時間の授業時間を縮減します。(1単位時間：小学校45分、中学校50分)
②教育内容を約3割程度削減し、基礎・基本を確実に身に付けるようにします。

③理解の状況や興味・関心等、個性に応じた指導を充実します。

④生徒の興味や関心などが多様化する中学校では、選択して学習できる幅を広げます。

⑤調査、スピーチ、ボランティアなどの社会体験、ものづくり・生産活動などを授業に取り入れ、自ら学び自ら考える力を育てます。

⑥道徳教育、国際化へ対応した教育、情報教育の充実なども進めていきます。

特色ある学校に

新学習指導要領では、各学校が工夫した特色ある教育を展開し特色ある学校づくりができるよう、各学校の自由度を拡大します。

たとえば、その一つに、各学校の創意工夫で柔軟な時間割りが組めることがあります。理科の実験は75分授業を行ったり、日々の習熟の必要な英語は25分授業を毎日行ったりと、各学校で工夫できます。

小学校3年生以上には、「総合的な学習の時間」が新設されます。この時間は、教科書がなく、各学校が工夫した特色ある授業が展開されます。

中学校の全学年に設けられる選択教科は、教科の種類や内容について、各学校が生徒の特性等に応じて自由に決めることとなります。

新しい学習指導要領で 詰め込み教育から 脱却できるか

さて、小田原の小・中学校では

小田原の小・中学校では、すでに次のような動きが始まっています。移行期に入った今年は、一層、改革に拍車がかかります。

①カリキュラムの弾力化を図り、柔軟な時間割りをスタートしました。15分のユニットで授業を組むなど、より良い方法を模索する学校が増えています。

②体験的な学習や、問題解決的な学習がより重視されてきています。特に、小学校では、地域ボランティアの方の協力も得て、米づくりやメダカの飼育などに取り組んでいます。中学校では、進路学習として、職場体験学習が定着してきました。

③各学校の特色を生かした「総合的な学習の時間」づくりが進んでいます。教科の枠にとらわれず、子供の思いを大切に、学習を進めてきています。

④地域と結び付いた特色ある学校づくりを進めるために、「学校評議員制度」について研究し、導入していく予定です。

子供は未来からの預かりものです。子供がいる方も、いっしょに考えよう。私たちの社会の未来を託す子供の教育について、強い関心を持って見守っていきましょう。

ポリオワクチンの 予防接種を受けた方へ

市民健康課(保健センター)

☎47-0820

福岡県内でポリオワクチンによるものと思われる健康被害が続いて発生しました。ワクチンとの因果関係は、現段階では確定できませんが、5月にワクチンを接種されたお子さんに発熱や吐き気、食欲低下などの症状が見られたときは、すぐにかかりつけの医師にご相談ください。

日曜日の昼間と毎日の夜間は、日夜間急患診療所(保健センター)で、深夜は市立病院でも受診できます。

休日夜間急患診療所
日曜日 8時30分～15時30分、
毎日 19時～22時 ☎47-0823
市立病院
22時～翌朝9時 ☎343-175

なお、10月に予定しているポリオの予防接種は、実施を見合わせるかどうか、現段階では決まっています。広報おでわらなどでお知らせします。



東京オリンピックマラソンで、金メダルを獲得した四谷幸吉選手の写真



走り幅跳びで、日本新記録を出した山田選手 (昭和45年)

歴史的な記録が 真田 久さん(厚川) 刻まれた競技場

私と陸上競技との関わりは、昭和23年に福岡で開かれた第3回国民体育大会に、高校の部の1,500mで神奈川県代表として出場したことに始まる。就職してからは、実業団駅伝で走るほかに陸上競技協会の執行部に入るなど、選手以外としても関わってきたのだが、昭和41年には仕事面でも縁があり、気がつけば半世紀である。

昭和30年10月9日、4日前に完成したばかりの城山陸上競技場のこけら落としとして、秩父宮賜杯第1回一般・学生対抗陸上競技大会が開かれた。現在のように実業団対学生という形になるのは昭和36年の大会からなのだが、日本陸上界を代表する選手がたくさん出場したため観客は超満員

で、入場券を売っていただくくらいだった。

この競技場は、「線に囲まれた、記録の出る競技場」と評判がよかったので、全国規模の大会でもよく使われた。当時はトラックが土だったため、石灰で線を引き、雨のときはガソリンをまいて燃やしたり、スポンジで水をとったりと、準備の段階でいろいろな苦労があった。昭和55年に全天候型のトラックに改修され、こういった苦労はなくなったが、懸命に整備した場所、しかも自分の目の前で日本新記録が出たときには、今までの苦労がすべて解消しにくらい感動したものだった。

印象に残っているのは、第10回大会(昭和45年)の男子走り幅跳びで、山田宏臣選

手が日本で初めて8mを跳んだことだ。ロサンゼルスオリンピック(昭和11年)の三段跳びで金メダルを獲得した南部忠平さんが、昭和6年に出した7m98cmという記録を、39年ぶりに更新した8m01cmという日本新記録だった。このとき使用した踏み切り板に、記録と氏名と年月日を当時の小田原市長が署名して、山田選手に記念にプレゼントした。また、第12回大会の女子走り幅跳びで、山下博子選手が6m41cmの日本新記録を樹立したときにも、同じようにプレゼントした。

第5回大会の男子200mで、飯島秀雄選手と豊田徹選手が繰り広げた激しいデッドヒートも見物であった。結局二人のタイムは20秒9と21秒0で、0.1秒の差で飯島選手が勝った。また、東京オリンピックマラソンの銅メダリストとなる円谷幸吉選手が走る姿も見ることができた。

日本を代表する有名な選手が多数出場しているこの大会では、日本新記録が38個、タイ記録が5つ誕生している。平成元年からは、平塚と小田原での隔年開催になり、他会場での大会も増えて、有力選手がここに集中することが少なくなったが、ハンマー投げの室伏選手ら記録を出せる選手が参加したり、テレビ中継もされたりと、伝統のある重要な大会であることには変わりない。

実業団・学生対抗陸上競技大会

日時 6月25日(日) 13:00～(雨天決行)

場所 城山陸上競技場



「役者の一し」
小宮さんにとって、ふるさとの祭りはとても大切なことで、心から楽しめたよう

中でも人気者は小田原城下町大使の俳優小宮泰さん。沿道からの熱いコールに満面の笑顔で応えていました。マイク片手に、6月10・11日に市民会館で開く公演「星の町」長崎暴情謡のPRもちゃっかりとするあたりは、さすが「役者の一し」

小田原のまち全体が燃え上がる5月3日の北條五代祭りには絶好の天候に恵まれ、2千余人の大パレードに17万5千人の観衆が酔いました。

地元出身の小宮さんに大声援

小田原
彩時記

納税の義務と
税の公平負担をめざして

市税の

7月1日
スタート

滞納に対する 特別措置に関する条例

納税の義務と税の公平負担を再確認してもら
うために、「市税の滞納に対する特別措置に関
する条例」が3月定例会で可決され、来る7月
1日から施行されることになりました。

●収納納課 331339

【行政サービスの制限を23項目に拡大】

7月1日から、行政サービスの制限が従来11項目から23項目
に拡大されます。これは、税金を納めていない人すべてに適用
されます。今後この制限は、さらに拡大される予定です。

これまで制限されてきた事業

事業名	所管課	電話番号
入札参加登録申請	管財契約課	33-33-1325
勤労者生活資金融資	地域づくり課	33-33-1854
中小企業退職金共済掛金補助金		
事業所立地適正化資金融資	商工課	33-33-1511
中小企業中元歳末資金融資		
中小企業信用保証料補助金		
中小企業小口融資制度		
低公害車購入補助	環境保全課	33-33-1481
市営住宅入居募集	建築課	33-33-1553
水洗便所改造資金貸付	下水道総務課	33-33-1615
水洗化工事費補助		

新たに制限される事業

事業名	所管課	電話番号
勤労者住宅資金利子補給金	地域づくり課	33-33-1854
街かど博物館整備補助金	商工課	33-33-1511
事業所立地適正化資金融資利子補給金		
水産業振興資金融資	水産海浜課	33-22-9227
漁獲共済掛金補助金		
後継者対策資金融資利子補給金	農政課	33-33-1491
スーパー1資金融資利子補給金		
電動式生ごみ処理器設置費補助金	環境総務課	33-33-1471
合併処理浄化槽整備費補助金	環境保全課	33-33-1481
住宅用太陽光発電システム整備費補助金	防災対策課	33-33-1855
危険ブロック塀安全対策費補助金		
公共団体施行の土地地区画整理	都市整備課	33-33-1507
事業における保留地の売却		

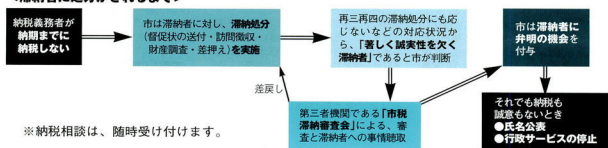
【氏名公表】

この条例に基づいて新たに設置される「市税滞納審査会」の審議を経て、著しく誠実性を欠く滞納者は氏名が公表されることもあります。

<対象者は？>

この条例の対象となるのは、十分な納税力があるにもかかわらず納税しないといった「著しく誠実性を欠く滞納者」です。分納者や、納税の意思がありながらやむを得ない事情で納められず、納税相談を受けている方は、対象になりません。

<滞納者に処分がされるまで>



※納税相談は、随時受け付けます。



大にきわいの
「わんぱくらんど」

小田原
彩時記

4月29日に待望の「わんぱくらんど」がオープンしました。
午前9時。歓声とともにくす玉が割れ、それを合図に、いつせいに目当てに向かって急ぐ、走る家族がいつぱい。その先は人気の「ことも列車」と「ボニー」です。予想どおり、すぐに長蛇の列の完成です。
おとさん、おかあさん、本当にお疲れさまでした。なんとゴールデンウィーク中に17万1千人が入園しました。

おだわらの建築風景 2

まちで見かけた 小田原の建築物

城下町、宿場町として栄え、明治期には政財界や文学者たちの別荘、保養の地として発展してきた小田原。

古い武家屋敷や農家、町屋のたたずまいは、明治以降の別荘とともにほどよく調和し、小田原独特の情景をかもし出しています。

普段何げなく通り過ぎてしまう建物から、小田原文化の魅力を探ります。

建築士 平井泰延(室町)



【神奈川県労働金庫 小田原支店(本町)】

この建物は、大正末期に小田原を中心とした商業銀行・明和銀行本店として建設され、その後、1927(昭和2)年ごろの金融大恐慌で倒産し、横浜銀行小田原支店となった。それを1975(昭和50)年、県労働金庫が購入し、小田原支店として現在に至っている。

大正末から昭和初期、ギリシャ神廟風の柱を持った銀行建築が流行した。この建物もややそんな外観を見せ、どつとりとしたスタイルが印象的である。さらに、角地を巧みに利用した円形処理は、いま市の都市景観形成基準にある「まちかど創出」を先取りした感もあり、外壁の直線的堅さを和らげている。

室内は天井が高く、円形の壁に沿って2階に相当する部分に回廊下がある。昔は社会見学で銀行を見学に来ることがあり、それ用のものであったという。

今となるまで使いつらう面もあり、地震対策にも苦心しているようである。



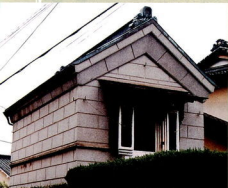
【鈴木家の蔵(早川)】

この蔵は、1927(昭和2)年に、現当主鈴木義雄さんの祖父に当たる鈴木久吉さんが建てたものである。久吉さんは片浦村(現小田原市)石橋の出身であったが、働き者であったため、請われて早川の鈴木家を継いだ。庭内には陶像が置かれている。

蔵は、今でもそうだが、衣類、穀類の保存や、みかん貯蔵に使われているという。蔵の壁は土蔵造、モルタル漆喰壁。屋根の小屋根は木造で銅板葺き。外壁の洗い出し仕上げの左官工事は、小田原町茶畑現小田原市本町にあった井上左官店が施工したというが、しつかりしていたいねいな仕事が目玉を引く。

屋根の木造小屋組が洋風トラスというのが珍しい。また、出入口の引き扉が三重に重なって、前面はコンクリート製扉、中が鉄製扉、そして奥が樺づくりの木製扉となっている。

蔵は、まだあちらこちらで見られる。鈴木家の蔵は小振りではあるが、品があって美しい。



西湘老人ホーム増床のお知らせ

(広告)

早川地区にある特別養護老人ホーム「西湘老人ホーム」は、増床工事を行ない、4月1日から短期入所の定員が9人から18人に倍増し利用しやすくなりましたので、ぜひともご利用ください。

なお、この増床工事は、一部、日本自転車振興会より補助金の交付を受けております。

社会福祉法人西湘福祉会
特別養護老人ホーム

西湘老人ホーム

小田原市早川1853 TEL. 0465(24)118190

あなたのお部屋をホテル仕様にしてみませんか
涼としたら 健康にも ストレスにも効果的

(広告)

ひと月に1回コース 1回 23,000円
月2回コース 1回につき 21,000円

別途初回のみ保険加入に 10,000円が、かかります
定期的に女性3名が2時間お伺いします



お掃除のナジヤ ☎38-1155

みんなて整備した
ほたる田とくぬぎ林

千代小学校父母と先生の会



千代小学校
の周辺には、地域の
方々の協力
により、千
代小学校父母と先生の会

然とふれあえる場所があります。
平成7年度から活用しているほ
たる田は、地下80mからくみ上
げる地下水が農業用水と流れ
る水路に、ほたるが成虫へつ環
境を整え、ほたるが繁殖する地域
づくりに取り組んでいます。今回、
子供が踏み荒らして土砂が崩れか
けているところを整備するのが
、小さな子供もスコップを持ち、
親子で作業に参加してくれまし
た。学校のある土曜日の午後15時
活動しているのですが、先生方や
PTA役員のO.Dの方々も作業に協
力してくださるで、ありがたく
思っています。

11月の「ほたる田まつり」も、老
人会や連合子ども会や先生方の協
力で、毎年楽しいお祭りになっ
ています。

昨年度から、2年計画でくぬぎ
林の整備を始めました。地域の方
が所有しているくぬぎ林に歩く道
を作ること、泥を固めたりほか
の草木を傷めたりすることがなく
になりました。この丸木の小径は、
6年生3クラスの卒業制作でもあ
るんです。

子供たちが小学校を卒業して
も、親子が自然とふれあえる場所
を作っていきたいですね。



いきいきとした まちを作ろう

「わがまちよいとこ応援事業」 募集中!

まちづくりに自主的に取り組む団体の活動を支援している「わがまちよいとこ応援事業」。今までも、花を植えたりほたるを守ったりといった、さまざまなまちづくり事業を支援しています。まちを愛し、住みよくしていこうという気持ちはみんな一緒。あなたも、一歩踏み出してみませんか? 市民交流課 ☎33-1703

歴史を掘り起こして
まちおこし

曾我の郷歴史散歩の会

曾我の郷には1000年前から歴史があります。知られていない近郷の歴史を掘り起こし、この歴史や文化を広め伝えていくことで、地域の文化活動に貢献しようとして4年前に発足し、曾我の郷を中心とした活動を行っています。
講演会や研修会、歴史を知るための散策などのほか、梅まつりの時期には「梅の里むかし展」を開き、1年間の事業の総まとめを発表しています。東京や静岡から梅まつりに来てくださった方にも曾我の郷をPRできて、とてもうれしかったです。
昨年は「曾我の郷のくらしの歴史年表」という冊子を発行しました。このあたりで起こったことを年代順にまとめたもので、一目で歴史が網羅できると評判も高いんです。
ボランティアで歴史ガイドも



わがまちよいとこ応援事業

平成12年度 助成事業を募集中!

対象 市内に在住・在勤の10人以上の団体
内容
・自らが考え、自らの責任で実践する事業
・周辺地域や将来への波及効果が期待できる事業
・営利を目的としない事業

・宗教に関係しない事業
・これまでに県・国・市などから補助金を受けたことのない事業
補助額 人件費や委託料、食料費以外の経費で、1事業につき経費の50%以内(限度額あり)
応募方法 市民交流課(市役所5階)にある申請書に、必要事項を記入し提出。
申込 6月30日(金)までに(必着)、
〒250-8555 小田原市役所市民交流課

市役所局長
川久保正人さん
(曾我別所)



曾我の郷の歴史を掘り起こしていきなさいと思っています。

しているのですが、曾我別所公民館の文化祭のときに子供たちやその親に話をしたら、とても好評でした。自分たちが好きでやっていることですが、地域の役に立ててうれしくやっていますね。
今後どういうことをやっていたくかは、みんなの意見を聞いて決めますが、自分たちが楽しむだけでなく、曾我兄弟遺跡保存会などの団体と協力しあっています。

友の会
会員募集

葬儀保険
お取扱い中

駐車場
120台分あり

葬儀に数百万円もかかるとは思っていませんか?
当社は葬儀の価格破壊に挑戦しております

まずはお電話を。365日24時間受付しております。
小田原市助産共済・小田原市議員互助会 特別割引(常設)

(有)小田原市民葬祭
24時間受付 ☎0120-58-4194

栄町本坂屋の清流の若鮎
やめられないお菓子たち Vol.10

元気いっぱい、あゆ解禁
6月、あゆ解禁の季節です。遊園地にも使われ、今年も元気いっぱい、鮎の皮は新しいい。おなかほすもちいっばい。鮎のうれしい程度です。1座150円。

栄町本店/栄町1の160-46
TEL.22-3020 第3水曜定休
アミーおだちが店もあり

●小田原高校卒業。1982年、20歳のときにスペインへ渡る。マドリード王立音楽学院を卒業し、高等ギター科教授公認ディプロマを取得。ホセ・ルイス・ロドリゴなど有名な師の指導を受け、スペイン、東京、フィンランド、パリなど世界各地の国際コンクールで入賞を続けた。現在はスペイン、ヨーロッパ諸国、日本各地で幅広い演奏活動を行うかたわら、マティス音楽院、コルナル・ビエホ音楽院のギター教授を務め、忙しい毎日を通すごす。スペインマドリード在住。



高木真介さん (タカギ マサヒコ)

小田原の海への想い、ギターの調べにのせて

家族も得た。奥さんのアニタさん

再会を約束して、機中の人となった。

「良い音楽、感動できる音楽には、ジャンルの区別や、国境も関係ないですよ。高木さんの持つて生み出したボーダーレスな感覚は、エレキギターをクラシックギターに持ちかえて、単身スペインへ」「プロになるには、絶対スペインだ」と、その日に備えてスペイン語を学んでいたという。

スペインでの生活は18年目を迎え、7歳とく歳の男の子のよき父親でもある。でもマドリードには、海がない。湯河原に生まれ、小田原の海で青春を過ごした高木さんは、ときどき無性に海が懐かしくなる。「浜辺の歌」をコンサートで演奏してみようと思ったのはそんなときだった。フルト奏者のパートナー、マルチネスさんが共鳴し、それから「浜辺の歌」は、二人の大切なレパートリーのひとつになった。

「良い音を出すには、自分がどれだけ感ずることができか、音楽への、人生への『愛』をどれだけ持っているかですね。信念を熱く語ってくれた高木さん。日本でのコンサートのフィナーレ、鳴りやまない拍手の中、聴衆に再会を約束して、機中の人となった。」



「劣等生だったから、あまりいい思い出がないなあ。苦しいしながら、小田原の思い出を語り出した高木さん。湯河原に生まれて、小田原の海で青春を過ごした高木さんは、ときどき無性に海が懐かしくなる。『浜辺の歌』をコンサートで演奏してみようと思ったのはそんなときだった。フルト奏者のパートナー、マルチネスさんが共鳴し、それから『浜辺の歌』は、二人の大切なレパートリーのひとつになった。」

輝く 小田原人

「まちづくり」といふ言葉を辞書で調べても載っていないです。小田原にとつての『まちづくり』を定義していくことが、私の仕事になると思っています。



公算した市民百人委員会とともに策定した小田原市の総合計画「ビジョン21」わたらの案を提出し、この4月、全国的にも珍しい試みである自治体版のシンクタンク「小田原市政策総合研究所」の所長に就任した。地方分権がスタートし、本格的な都市間競争が始まる中で、これから小田原がより輝いていくための方向を模索していく。

小田原は、結婚する前に奥さんとデートを重ねた場所。アクセスが便利になって、歴史と新しさがミックスされた独自の雰囲気を持つまちで、都心からドライブするには最適な場所だったという。

「『まちづくり』があるように、まちにも遺伝子があると思うんです。とくに小田原は優れた遺伝子をたくさん持っている。その遺伝子を他の文化と交流させれば、世界に二つとないまちに成長していくと思います。」



小田原の遺伝子を大切にしたい

後藤春彦さん (小田原市政策総合研究所所長)

●早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了後、2年間、宮城県新田町都市デザイン企画専門官を務める。国土庁多自然環境実現のための地方都市圏整備方策調査委員、東京都景観審議会計画部会専門委員などを歴任。現在、早稲田大学理工学部教授・工学博士。妻、子供一男一女とともに世田谷区在住。43歳。

Let's
look for
Odawara

街かど博物館で、 小田原を探そう!

新たに
2か所追加

地場産業などを、既存の店舗や工場で展示・実演・体験することで、小田原の文化や産業・職人の技をありのままに伝え、訪れる人々に街の歴史や魅力を知ってもらう「街かど博物館」。今回新たに認定された「ひもの工房」と「かまぼこ博物館」では、海の幸が堪能できます。全部で7か所になった街かど博物館で、知らなかった小田原を見つけてみましょう。

☎商工課 ☎33-1515

自分で作った 干物の味は格別

塩干加工は、小田原の代表的な地場産業の一つ。ここでは、産業の歴史や小田原で干物加工される魚の種類と旬の時期など、干物に関する知識や食べ方などをお知らせします。平日なら、作っているところを実際に見学できます。魚をさばっている午前中がおすすめです。また、全曜日の9:00～12:00には干物作りが体験できます。ご希望の方は申し込みを。

早瀬幸八商店

ひもの工房



「コツをつかめば魚干だよ」と、あざやかな手さばきの早瀬幸弘さん(右)。



この道20年のベテランになると、分速4～5枚のペースでさばくとか。

時間 9:00～17:00

場所 小田原市浜町3-8-4

☎22-4035 ㉔22-8301



魚を聞いてよく洗い、塩水につけたものを網に並べたら、後は干せばできあがり。

かまぼこ博物館

小田原鈴廣

時間 10:00～17:00

*手づくり職人見学コーナーは水曜日休み

場所 小田原市風祭245 ☎24-6262



この地図で、日本各地のかまぼこが一目で分かります。



職人が実演指導してくれる、かまぼこ手づくり体験教室。1日4回実施。参加料1,500円。



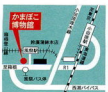
かまぼこの作り方が分かりやすく説明され、手づくり職人の技も間近に見られます。

かまぼこをクローズアップ

お客さんにより深くかまぼこを理解してもらい、身近な食品として親しみを持っていただくことと3年前にオープンしたこの博物館は、練り製品を本格的に取り上げた、全国でも珍しい博物館です。2階のかまぼこ板絵ギャラリーには、かまぼこ板絵コンクールの入選作品のほか、手塚治虫さん・藤子不二雄さん・やなせたかしさん・赤塚不二夫さんといった有名な漫画家の作品も展示されていて、ファンでなくても見逃せません。200点ほどが常時展示されていて、見応えも十分。夏休み期間中には、かまぼこ板を使ったイベントも予定しています。



ほかの街かど博物館



①かまぼこ伝統館(丸う田代)

時間 8:00～20:00 *定休なし

場所 浜町3-6-13 ☎22-9221

②梅万資料館(ちん里う)

時間 9:00～18:00 *定休なし

場所 本町4-2-37 ☎23-1547

③工芸菓子展示館(松坂屋)

時間 8:30～18:30

*第3水曜日定休

場所 栄町1-16-46 ☎22-3020

④薬師館(済生堂薬局小西本店)

時間 8:30～21:00

*日曜日定休

場所 本町4-2-48 ☎22-2014

⑤木象殿ギャラリー

(内田木象殿製作所)

時間 9:00～17:00

*金・土曜日定休

場所 南町4-1-13 ☎22-7314

※各博物館とも入場無料です。